目 次

スタンダード商法シリーズの刊行にあたって

第2版 はしがき

はしがき

1 章	総 論	1
1	保険制度	1
2	保険法と保険業法	7
3	保険契約の基本概念	9
2 章	保険契約共通事項	14
1	片面的強行規定	14
2	保険契約の成立と保険募集規制	19
3	告知義務制度	43
4	保険料支払義務	73
5	遡及保険	81
6	保険事故発生のお知らせ・説明義務	88
7	保険給付の履行期、消滅時効	93
8	危険の減少	103
9	保険契約の終了	106
3 章	損害保険契約	123
1	損害保険契約の種類、内容	123
2	損害保険契約の成立と効力	128
3	損害保険契約に基づく保険給付	137
4	損害保険契約の終了	168
5	損害保険契約各論	170

4章	生命保険契約	187
1	生命保険契約の特徴	187
2	生命保険契約の成立と効力	192
3	生命保険契約に基づく保険給付	222
4	生命保険契約の終了	229
5章	傷害疾病保険契約	246
1	傷害疾病保険契約の種類・特色・内容	246
2	傷害疾病保険契約の成立と効力	252
3	傷害疾病保険契約に基づく保険給付	265
4	傷害疾病保険契約の終了	275

参考文献一覧

事項索引

判例索引

■コラム目次

1-1	モラル・ハザードとモラール・ハザード	5
1-2	「人身傷害保険」の保険法上の法的性質は何か	11
2-1	片面的強行規定違反の解釈	19
2-2	告知義務違反のプロ・ラタによる解決	58
2-3	因果関係不存在特則のルーツ ドイツ保険契約法の議論	66
2-4	免許証の色の不実告知と因果関係不存在特則	68
2-5	遺伝子検査情報の利用制限にかかる諸外国の法制	72
2-6	相当の期間に関する保険約款の定めと実務対応	96
2-7	約款による消滅時効期間の延長又は短縮の可否	102
2-8	健康増進型保険と危険の減少等	105
2-9	道徳的危険増加の取扱い	109
2-10	危険増加に対する追加保険料の支払義務不履行に関する約款の定めと民法541条但書との関係	112
2-11	他保険契約（保険契約の重複）と重大事由解除	118
2-12	主契約又は特約の解除と契約全体の解除	119

3-1	被保険者の注意力減退対策としての一部保険	145
3-2	請求権代位の制度趣旨における近時の議論	151
3-3	一部保険の場合における請求権代位の適用範囲に関する学説の対立	158
3-4	テロ保険の必要性	169
3-5	責任保険における保険事故概念	175
3-6	被害者直接請求権と示談代行制度の関係	178
3-7	保険法における被害者直接請求権の法定化の議論	179
3-8	専門職業人賠償責任保険の特色	180
3-9	D&O 保険	181
3-10	弁護士費用保険の普及	185
4-1	平準保険料方式	191
4-2	未成年者の同意	194
4-3	保険金請求権の放棄	206
4-4	不倫相手の指定	207
4-5	保険金受取人の破産	220
4-6	生命保険契約の売買	221
4-7	無催告失効条項と民法541条・542条	239
5-1	酒気帯び運転免責条項の解釈にかかる少数説	274

■図表目次

1-1	保険制度	2
1-2	保険と貯蓄の相違	6
1-3	監督関連法規・監督官庁の具体例	8
1-4	保険法における保険契約の種類	10
1-5	給付方法による分類	10
1-6	公保険の分類	11
3-1	全部保険の場合における保険者の代位取得額	154
3-2	一部保険の場合における保険者の代位取得額	155
4-1	被保険者、保険金受取人による分類	188
4-2	親族構成図	214
4-3	家族構成図	218
4-4	約款による保険料の不払い時の処理の具体的内容	237